

私の生活の一部伝書鳩飼育 第9弾

平成31年3月吉日



今回で9回目の掲載になりますが、鳥の名前はハル9号とありますが またはハル902号です 2016年春800K レースに於いて埼玉連合会優勝した鳥です そして埼玉連盟総合18位の鳥です このレースでわが鳩舎では連合会1位・2位となりましたしばらくぶりの1位でした 放鳩地は北海道の白老町と言うところでアイヌ民族の生家がある所でも有名です やや東側に位置します放鳩するとすぐ津軽海峡に突入します。突入出来ないで道内をうろうろしている鳥は帰れません勿論海峡の天候次第ですが放鳩者は天候の見極めを要求されます 現地と帰還地とで密に連絡の取りあいをしますが放鳩者をはじめ我々は天気予報には素人ですからいろいろな意見が出ます勿論放鳩者も自分の鳩をレースに参加しているわけですから大事にすると思いますが放鳩には充分に なおかつ慎重に検討してもらいたいと思います しかし現地の天気が一番大事になりますので放鳩者に任せることもあります。

最近では 鳩の帰還率が悪い傾向です。天候不順のせいもありますが猛禽類の異常繁殖も考えられます また電波障害の関係があるようにも思えます。

もちろんのこと鳩の性能7割ですからね 利口な鳩をみんながより早く作出するか 利口な親鳩を手に入れるかがカギです なかなか見分け方が難しいと思います 私は今でもわかりませんしこんな研究は好きではありませんのでいつも見た目で判断しています 特にマークする時には今年度吉川ロータリークラブの会長のテーマである「ビーザインスピレーション」にすこし似ていると思いませんか 私が思うに運動神経と同じよう天性の勘ではないでしょうか？ 因みに私は後の方だと自負していますが（笑い）・・・研究も大事なことは言うまでもありませんが

鳩の血統には スピード系 中距離系 長距離系とそれぞれありますが、日本の鳩レースには 地系の問題と季節の問題がありますので 色々と工夫をしてよい鳥の制作に努力を重ねています。 鳩レースの盛んな国は第一にヨーロッパ・アジア・アメリカと続きます。

ヨーロッパでも一番はベルギーです。そしてオランダ フランス ドイツとなります アジアの国々では一番に中国 台湾 日本 タイとなりました。少し前までは日本は世界一経済大国とまで言われ 共に鳩レースもヨーロッパに次ぐ大国でしたが 今やすべて中国に抜かれましたね。 （金持ちが多いです）非常に残念です。・・・・・・・・

本題902号の話ですがみ方に師匠ケンちゃんの友人 T・T 氏幸手連合会で、♀方が私の作出ハル7号です地区 N 総合10位です。T・T 氏の鳥は800K FCI 国際グランプリ総合優勝の筋がからみ、そこに私の鳥地区 N700K 総合10位から生まれた鳥ですから、うまく配合があったのでしょうか？ 現在尾ヶ井鳩舎の一押し♀鳩ブリーダーになっております。 今後この子孫の成績に期待がかかります。